

## 長野市辺地対策総合整備計画（芋井飯綱地区）の変更について

### 1. 辺地対策総合整備計画（辺地対策事業）の制度概要

#### ■ 目的

辺地における公共的施設の総合的かつ計画的な整備促進に必要な**財政上の特別措置等**を定め、辺地とその他の地域との間の、住民の生活文化水準の格差是正を図る。

#### ■ 財源措置

辺地総合整備計画に基づき実施する施設整備に要する経費に、地方債として**辺地対策事業債の発行が可能**。  
[充当率] **100%**、[交付税算入率] **80%**

#### ■ 計画の策定に向けた手続き及びスケジュール

- ・県との協議（整備計画の内容）  
整備する公共的施設と整備方法、経費(財源)など
- ・政策説明会（11月18日）

〈同法〉-第3条-

市町村は、事前に県と計画内容を協議し、議会の議決を経て「整備計画」を定めることができる。

・市議会の議決（令和7年12月議会）

・県経由で総務大臣へ提出（令和8年1月提出）

＜現在＞ 実施設計の結果、天然芝グラウンドの整備内容を  
“変更（増額）する必要”が生じた

・国⇔県起債予定額協議（令和8年4月）

・国の起債同意（令和8年8月）

## 2. 計画を変更する理由

### 1 基盤整備（測量結果）

- ピッチ幅及び安全利用に必要な通路幅を確保するために、**法面側にセットバック**する必要が生じた。
- また、法面の安定勾配が確保されていないことが判明し、環境省との協議にて、**崩落の危険を回避するため法面を切土し**、利用者の安全確保を図る必要が生じた。

### 2 施設整備（Jクラブ・地元対応）

- Jクラブへのヒアリングから、練習の質とケガ防止のため、使用前に散水を行う必要があることが判明したため、**一斉散水が可能なスプリンクラー設備に変更**する必要が生じた。
- また、天然芝用の散水用の水として、地元区が管理する沢水を利用したスノーマシン用の溜め池を転用する想定であったが、**下流の田畑と使用時期と重なり、水不足が懸念される**ことから、**グレンデ内に流れ出る湧き水を集め、使用することに方針を変更し、貯留する受水槽が必要**になった。

### 3 雨水排水設備（地質調査）

- 浸透係数が極端に低いことが分かり、ピッチ外周に浸透側溝を追加する等、**雨水処理機能を確保する必要**が生じた。

### 4 園路広場整備（地元対応）

- 地元より、当初計画では駐車場が少なく、スポーツ拠点に加え、地域の交流事業などでも有効利用できるように、**駐車場を拡大**することとした。

### 5 防球ネット（国立公園）

- 環境省から**公園内の景観に配慮**した色の支柱にするよう指示があったため、当初想定していたコンクリート柱から着色可能な**鋼管柱に変更する必要**が生じた。

### 6 施工時期の変更・次年度へ

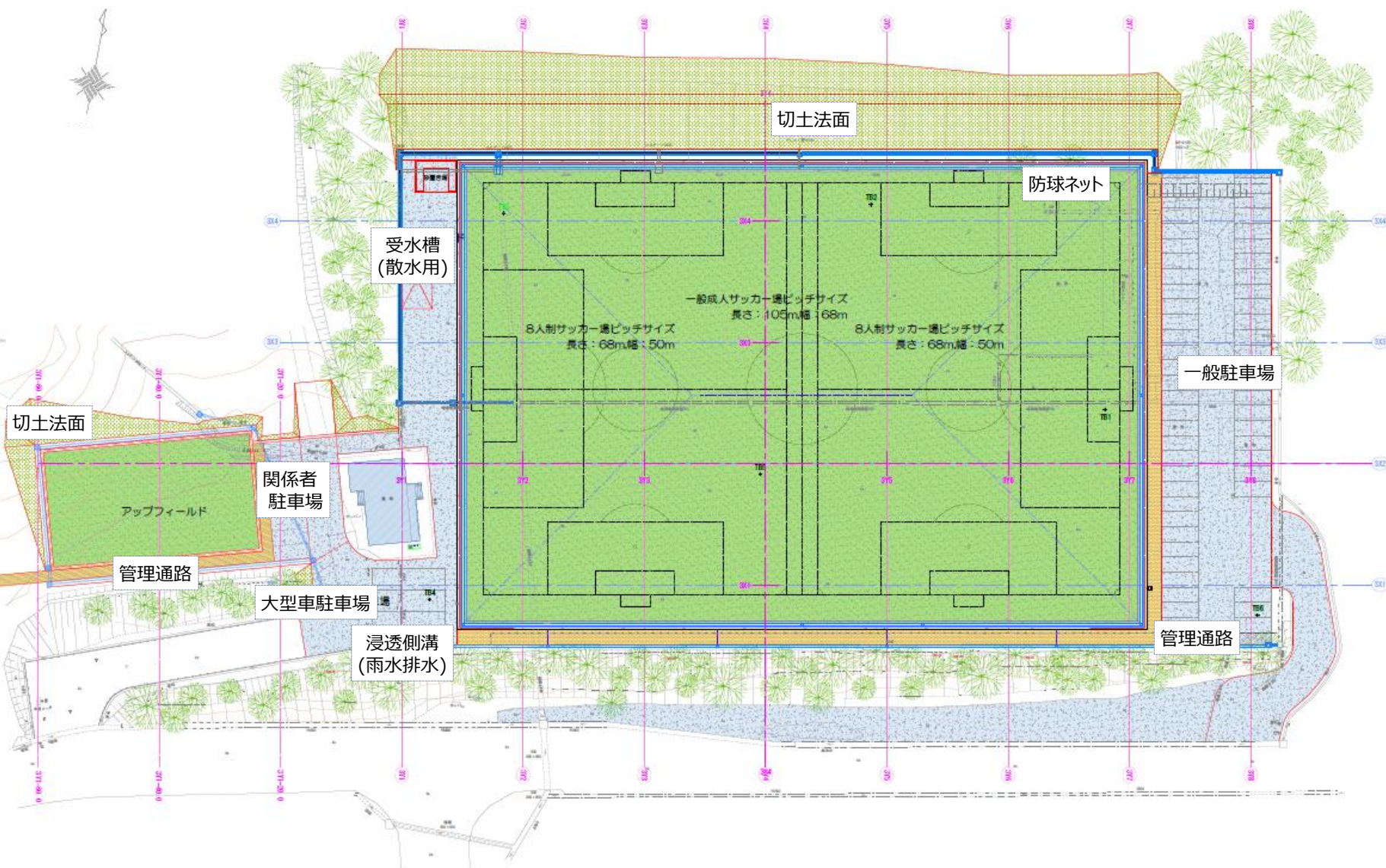
#### 【芝の苗撒き】

- 当初想定していなかった上記の追加対応が必要となったことから、**芝を適切な時期（春～夏）に苗撒きすることができなくなった**ため、施工時期を、**令和9年度に先送り**せざるを得なくなった。

#### 【国立公園の利用計画変更】（環境省）

- 環境省との協議の中で、**国立公園の利用計画変更手続きに想定以上に時間を要することが判明し**、整備内容の一部である**防球ネットの施工時期を、令和9年度に先送り**にする必要が生じた。

### 3. 整備予定図（実施設計）



FEEL NAGANO, BE NATURAL

この街で、わたしらしく生きる。長野市

## 4. 全体事業の概要

### 事業目的

- 旧飯綱高原スキー場駐車場敷地を活用したスポーツ拠点を整備し、プロスポーツチームや社会人・学生等の大会・合宿を誘致するとともに、平時の市民利用を促進し、地域の観光協会、宿泊・飲食の事業者とも連携を図りながら、受入れ体制の構築と情報発信の強化を行い、「スポーツの産業化」を目指す。
- 本市の持つ観光資源やアクティビティなどのコンテンツと掛け合わせた、より訴求力の高い合宿プラン・観光周遊プランの構築・販売等を行い、交流人口の拡大と消費活動を増加させ経済と地域の活性化を強く推進する。

### 事業計画

		合宿	新シーズン（秋春制）	合宿	新シーズン（秋春制）				
		R7		R8		R9		R10-	
※ 一般補助施設整備事業債（90-30）		(R7.12議会) 辺地計画		→ R8~10 辺地対策事業債（100-80）				<b>&lt;3か年(R7~9) 計&gt;</b>	
第2世代	10,065		169,016		278,804			457,885	
市債 ※	9,000		辺地債 369,000		308,800			686,800	
一般財源	1,065		17		5			1,087	
<b>(当初計画)</b>	<b>20,130千円</b>		<b>538,033千円</b>		<b>587,609千円</b>			<b>1,145,772千円</b>	
<b>(実施設計)</b>	<b>16,000千円（見込）</b>		<b>895,365千円</b>		<b>777,689千円</b>			<b>1,689,054千円</b>	
	(▲ 4,130)		(+ 357,332)		(+ 190,080)			(+ 543,282)	
第2世代	8,000 (▲ 2,065)		169,016		278,804			455,820 (▲ 2,065)	
市債 ※	7,200 (▲ 1,800)		辺地債 720,800 (+ 351,800)		498,800 (+ 190,000)			1,226,800 (+ 540,000)	
一般財源	800 (▲ 265)		5,549 (+ 5,532)		85 (+ 80)			6,434 (+ 5,347)	
			<b>(R8.3議会) 辺地計画 変更</b>						

#### 整備のための設計

##### Jチームの誘致活動

- ・設計業務委託
- ・Jキャンプ誘致（目標1チーム）
- ・観光コンテンツと組合せた合宿プランの構築・販売の実証

#### 天然芝グラウンド整備

##### 受入環境の構築 Jチームの誘致

- ・天然芝グラウンドの整備
- ・Jキャンプ実施と誘致活動
- ・社会人・学生等の合宿等誘致活動
- ・受入れ体制の構築、発信強化

##### 人工芝グラウンドの整備 誘致の拡大

- ・天然芝グラウンド開設
- ・Jキャンプ実施と誘致活動
- ・人工芝グラウンドの整備
- ・合宿チーム数の拡大
- ・周辺自治体との協業検討

#### 周辺自治体と協業し、 地域全体のスポーツの 産業化を目指す

- ・人工芝グラウンド開設
- ・周辺自治体との協業
- ・自治体を跨いだ地域全体のスポーツの産業化

## 5. 整備概要（年度計画）

[当初計画] 1,145,772千円

R7

<設計> 20,130千円

・設計業務委託費 20,130

R8

<天然芝グラウンド整備> 538,033千円

・天然芝G整備 307,013

・周辺環境整備 195,000

南グラウンド改修 105,000

その他 90,000

(トイレ、連絡通路、駐車場、芝生広場など)

・人工芝G実施設計 31,020

・ハイランド設計 5,000



旧飯網高原スキー場第3駐車場（天然芝）

R9

<人工芝グラウンド整備> 587,609千円

・人工芝G整備 557,609

・ハイランド改修 30,000



旧飯網高原スキー場第2駐車場（人工芝）

※下線は「第2世代交付金」の対象事業

R8 338,033千円

R9 557,609千円

[実施設計後] 変更 1,689,054千円

**16,000千円** (見込額)

・天然芝G設計  
・現地事前調査 など

**895,365千円**

・天然芝G整備① **650,810** (切土、散水、雨水排水など)

・周辺環境整備 **184,000**

南グラウンド改修 94,000

その他 90,000

(トイレ、連絡通路、駐車場、芝生広場など)

・人工芝G実施設計 **31,020**

・ハイランド設計 **5,000**

・既存建物解体 **19,006**

・合宿受入対応 **5,529** (ワト事業・起債対象外)

**777,689千円**

・人工芝G整備 **557,609**

・ハイランド改修 **30,000**

・天然芝G整備② **190,080**

芝舗装 74,455

防球ネット 115,625

681,830千円

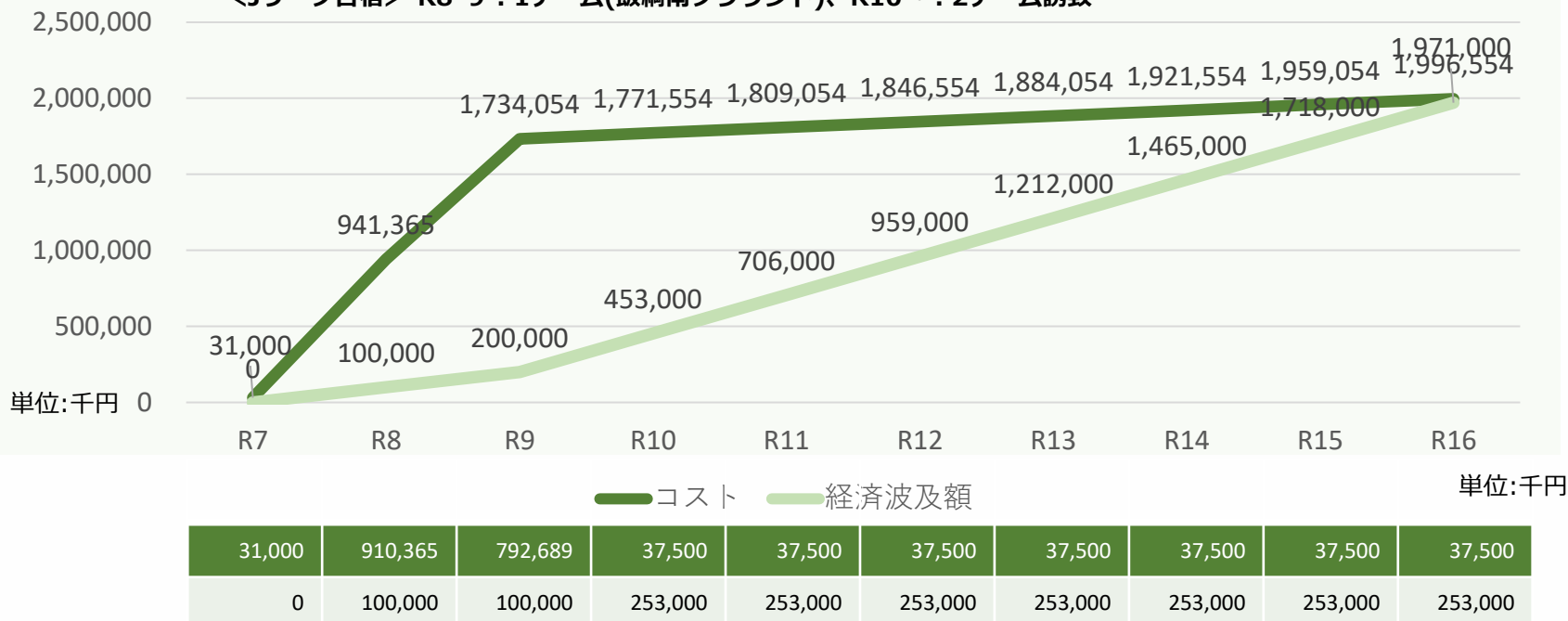
747,689千円

## 6. 見込まれる効果（経済的な効果） -再試算-

- ・天然芝・人工芝グラウンド各1面及び付帯施設を整備し、計3施設で事業を推進していくことによる、経済波及効果（直接効果・間接効果）・コスト（イニシャル・ランニング）を算出。(R14)
- ・経済波及効果として、投入するコスト（イニシャル・ランニング）を、概ね **R16** に回収の見込み。



※天然芝2面、人工芝1面の計3施設において、天然芝1面につきJリーグのチームを1チーム誘致できる前提  
 <Jリーグ合宿> R8-9：1チーム(飯綱南グラウンド)、R10～：2チーム誘致



## 7. 芋井飯綱地区 辺地対策総合整備計画の概要

### ■ 辺地の概況

・辺地名  
「芋井飯綱辺地」

・辺地の人口  
「734人」  
(R7.3.31現在)

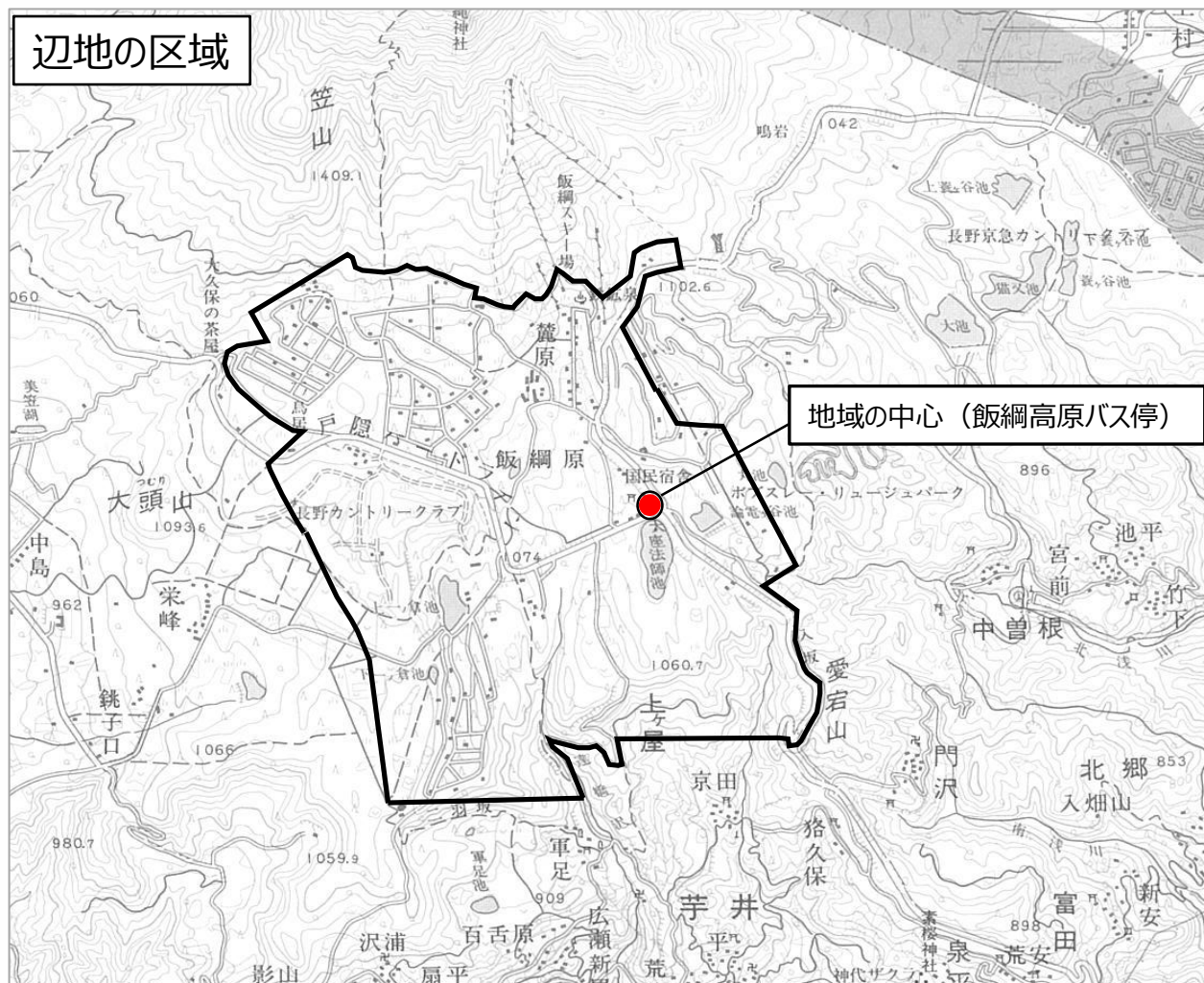
・面積  
「7.5km<sup>2</sup>」

・辺地度点数  
「141点」  
(辺地の要件は100点以上)

〈同法施行規則〉-第2条-

役場、医療機関、郵便局、小・中学校、駅又は停留所等までの距離が遠隔であるなど、当該地域について算定されたへんぴな程度を示す点数

・辺地の区域  
「右図のとおり」

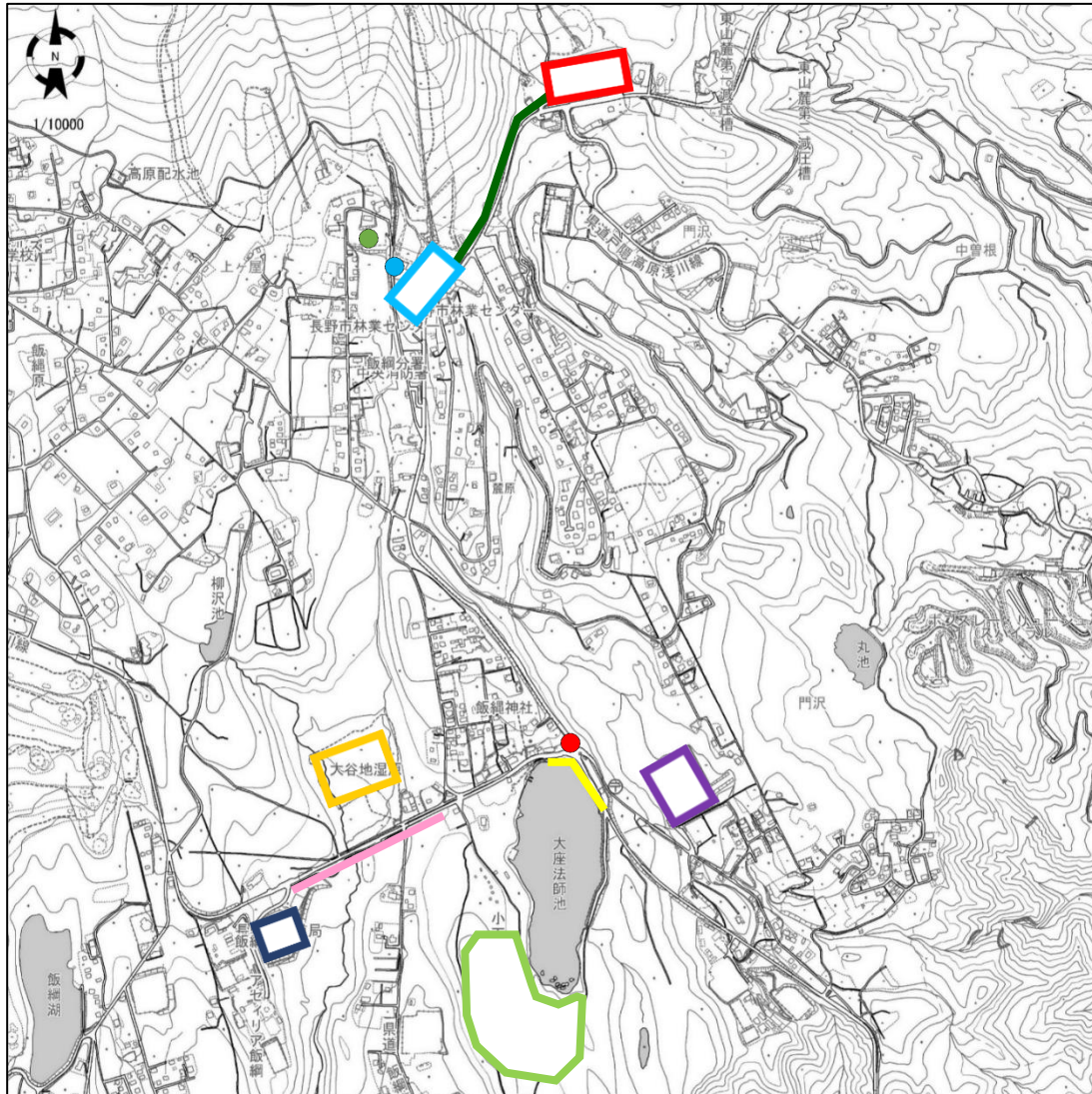


## 8. 辺地対策総合整備計画 年度別事業一覧

区分		事業名	事業内容		予定事業費（千円）			
					R8	R9	R10	3カ年合計
1	産業振興 観光・レク	飯綱高原スポーツ拠点整備事業	R8	天然芝グラウンド整備 ①期 人工芝グラウンド設計 周辺環境整備 受入環境整備 ※	895,365 557,039	777,689 587,609	0	1,673,054 1,144,648
			R9	天然芝グラウンド整備 ②期 人工芝グラウンド整備 ハイランドホール改修				
2	産業振興 観光・レク	飯綱高原観光施設整備事業	R8	大座法師池擬木柵改修	7,000	37,900	38,900	83,800
			R9	小天狗の森遊具改修 テニスコート連絡通路整備				
			R10	大谷地湿原遊歩道改修 テニスコート改修				
3	交通通信 道路	飯綱東山麓線 交差点改良	R8-9	飯綱東山麓線交差点改良	20,000	30,000	0	50,000
総事業費合計					922,365 584,039	845,589 655,509	38,900	1,806,854 1,278,448
辺地対策事業債 充当予定額 合計					747,800 415,000	566,700 376,700	38,900	1,353,400 830,600
(うち、第2世代交付金) 予定額					(169,016)	(278,804)	( - )	(447,820)

※ 辺地対策事業債の対象外

## 9. 辺地対策総合整備計画 事業箇所位置図



### 【凡例】

- 飯綱高原北グラウンド整備 (R8-R9)
- 飯綱高原中央グラウンド整備 (R9)
- 飯綱高原中央グラウンド駐車場整備 (R8)
- ハイランドホール改修 (R9)
- グラウンド連絡園路整備 (R8)
- 飯綱高原南グラウンド改修 (R8)
- 大座法師池遊歩道木柵改修 (R8)
- 小天狗の森アスレチック整備 (R9)
- 大谷地湿原遊歩道整備 (R10)
- テニスコート改修工事 (R10)
- 飯綱東山麓線交差点改良 (R8-9)
- テニスコート連絡通路整備 (R9)

## 10. 今後のスケジュール等

月 日	内 容
令和8年2月 9日	臨時部長会議（辺地計画の変更に係る議案）
2月16日	政策説明会
	3月市議会（辺地計画の変更）
3月下旬	市議会の議決
	→ 県経由で総務大臣へ変更計画を提出
4月	国 ⇔ 県 起債予定額協議
8月	国の起債同意

